

いのちとくらしをまもる
防災減災令和3年7月2日
九州地方整備局
福岡国道事務所国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の道路計画を進めるに
あたり地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価※の手続きを進めております「国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）」に関し、道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞かせください。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。

アンケート調査について

○実施期間：令和3年7月5日（月）から令和3年8月6日（金）

アンケート調査対象者	実施・配布方法
①沿線住民の方	・郵送により配布 福岡市東区、福岡市博多区 ※無作為抽出
②その他の地域にお住まいの道路利用者	・福岡空港、博多港などで配布※ ・九州自動車道休憩施設で配布（古賀SA、広川SA）※ ※webによる回答も行うことができます。

ヒアリング調査について

○実施期間：令和3年7月12日（月）から令和3年8月13日（金）

○調査対象等：沿線自治体である福岡市及び博多バイパス（下臼井～空港口）の利用が考えられる団体、企業等

○実施方法：対面方式

オープンハウスについて

○実施期間：令和3年7月27日（火）から令和3年8月4日（水）

（平日・休日）10時から16時

○備考：荒天が予想される場合は延期とし、前日の17時までに福岡国道事務所ホームページでお知らせします。

実施場所	実施日
イオン福岡東ショッピングセンター	・令和3年7月27日（火）
イオンモール香椎浜	・令和3年7月31日（土）
ランチ博多パピヨンガーデン	・令和3年8月4日（水）

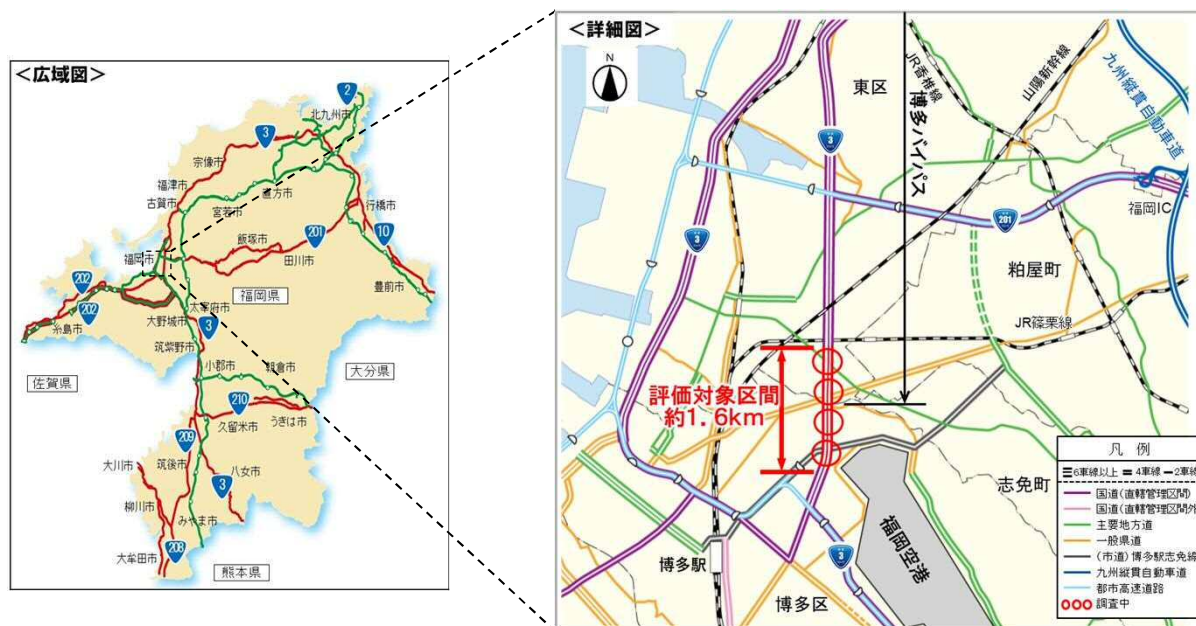
【問合せ先】：国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

技術副所長 島川 浩一

（代表）電話：092-681-4731（直通）電話：092-682-7747 FAX：092-682-7763

E-mail：qsr-fukkoku@mlit.go.jp URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

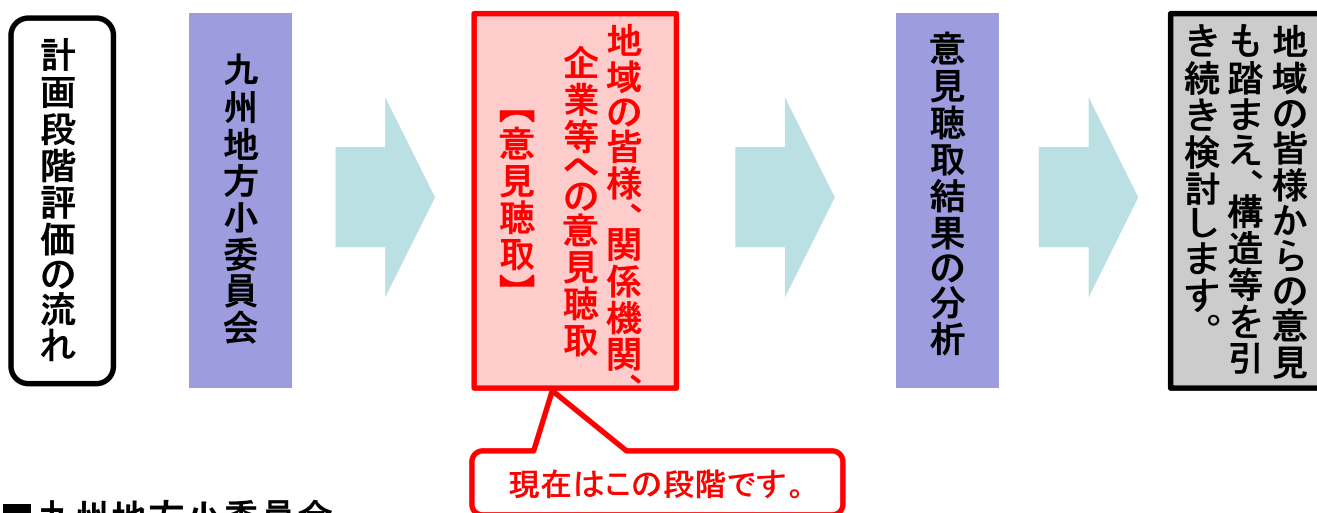
国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）対象区間位置図



■地域の皆様からの御意見は「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取り組みを導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性のいっそうの向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

アンケート調査について

本アンケート調査は、国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域にお住まいの皆様のご意見をお聞かせ頂くために実施するものです。

国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）周辺地域における、地域の皆様が日ごろ感じられている、道路交通面での課題や、地域に求められる道路の役割、対策案（構造）の比較・検討に際しての重視すべき項目・配慮すべき項目等について、ご意見を伺うものです。ご協力のほどお願い申し上げます。

本調査は、福岡市博多区、福岡市東区の世帯を対象にアンケート用紙（同封の返信用はがき）を送付し、ご回答をお願いしております。

本調査票を郵送している個人情報（世帯主の氏名・住所等）については、住民基本台帳法に基づき、上記地域の地方公共団体から提供いただいております。本調査以外には使用せず、使用後には破棄します。

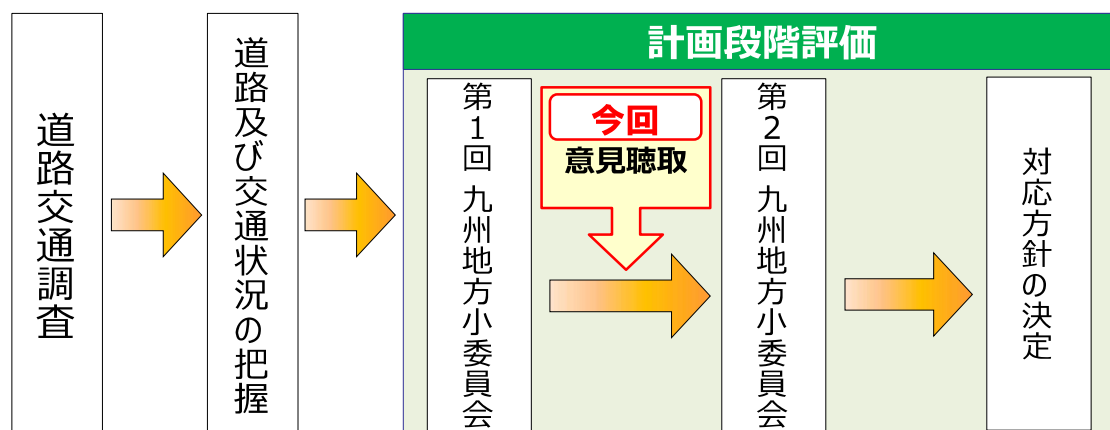
ご回答いただいた内容は、国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所で集計を行います。

※地域の現状について、地域にお住まいになる皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。

そのため、返信用はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

道路事業の流れ（計画段階評価の流れ）

- ・ 計画段階評価では、地域の皆様のご意見を伺いつつ、地域の状況と課題、道路に求められる機能等を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。
- ・ 今後、地域の皆様のご意見を基に、道路整備の方針（政策目標の設定、対応方針の検討）を検討して参ります。



※必要に応じ、都市計画決定や環境影響評価の手続きが実施される

アンケートの答え方

<回答方法について>

- ・ **P. 1～4を見ながら**、回答してください。回答方法は次のいずれかでお願いします。

回答方法①

アンケート用紙（同封の返信用はがき）に記入の上、ポストへ投函してください。



回答方法②

下記のQRコードより、WEBページ内の手順に沿って回答してください。



URL : <https://r10.to/hyxFWa>

<返信用はがきの記入例>

- ・ **選択回答**の設問は、あてはまる番号に **1つだけ** ○（マル）をつけてください。
- ・ 問2、問3は4段階評価の質問です。 **各項目について1つずつ** ○（マル）をつけてください。
- ・ 問4の設問は自由回答です。具体的なご意見をお書き下さい。

「オモテ面」

郵便はがき

料金受取人私郵便

博多北局 承認

福岡県福岡市東区名島3丁目24-10
国道3号 博多バイパス(下臼井～空港口)

差出有効期間
令和3年●月●日まで

切手不要

8128790

計画段階評価 事務局 行
(国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所内)

下記にチェックおよびご記入をお願いします。

あなたご自身のことについてお尋ねします。
【記入または該当する番号に○を付けてください】

年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	5. 50代	6. 60代	7. 70歳以上	
性別	1. 男性	2. 女性		
住所	1. 博多区	2. 東区	3. その他()	

問1 国道3号 博多バイパス(下臼井～空港口)の利用状況についてお尋ねします。【該当する番号に○を付けてください】(単一回答)

利用頻度	1. (ほぼ毎日(週4～7日))	2. 週に1～3日程度
	3. 月に数回程度(週1日未満)	4. (ほとんど利用しない)
	5. 利用したことがない	
利用目的	【平日】 1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 観光・レジャー 4. 通院 5. 業務 6. その他() 7. 利用しない	【休日】 1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 観光・レジャー 4. 通院 5. 業務 6. その他() 7. 利用しない
移動手段	【平日】 1. 自動車 2. バス 3. バイク 4. 自転車 5. その他() 6. 利用しない	【休日】 1. 自動車 2. バス 3. バイク 4. 自転車 5. その他() 6. 利用しない

「ウラ面」

問2 国道3号 博多バイパス(下臼井～空港口)の道路にはどのような交通課題があると思いますか。次の①～④の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。
【4段階評価】 1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

交通に関する課題	あなたの評価の程度			
① 交通渋滞が発生し、日常生活の移動に支障を感じる	1	2	3	4
② 交通事故が多く安全性が低いと感じる	1	2	3	4
③ 効率的な物流活動を阻害していると感じる	1	2	3	4
④ 救急搬送時、患者への負担を増大させていると感じる	1	2	3	4

問3 この地域にとって、望ましい構造案を検討する際に重要だと思うことは何ですか。次の①～⑩の課題項目それぞれについて、4段階評価してください。
【4段階評価】 1. 特に重視すべき 2. やや重視すべき 3. あまり重視すべきではない 4. 重視すべきではない

道路の機能	あなたの評価の程度			
① 評価対象区間の渋滞が改善すること	1	2	3	4
② 「下臼井・新二又瀬橋・空港口」交差点の渋滞が改善すること	1	2	3	4
③ 交通事故が少なくなり、走行する際の安全性が向上すること	1	2	3	4
④ 目的地への到着時間が読み易くなること	1	2	3	4
⑤ 市内の各拠点(博多駅方面や福岡空港等)への利用ができること	1	2	3	4
⑥ 救急搬送の時間が短くなること	1	2	3	4
⑦ 道路整備に伴う沿道や家屋等への影響が小さいこと	1	2	3	4
⑧ 騒音の影響が小さいこと	1	2	3	4
⑨ 周囲への景観の配慮がなされていること	1	2	3	4
⑩ 工事中の影響が小さいこと(開通までの時期が早いこと等)	1	2	3	4
⑪ 道路をつくる費用が安いこと	1	2	3	4

問4 他に配慮すべき事項や今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由に記載ください。



- ・ 評価対象区間は、国道3号博多バイパスの一部区間であり、6車線の道路です。
- ・ 沿線地域には博多港や福岡空港等の県内の主要拠点を有し、周辺には多くの物流関連企業が集積しています。
- ・ 救急医療を担う3次医療施設（九州大学病院救命救急センター/済生会福岡総合病院救命救急センター）も近くに位置しています。



国道3号博多バイパス



至 大宰府市

※福岡国道事務所撮影

福岡空港



提供:福岡市
撮影者:Fumio Hashimoto

3次医療施設



※済生会福岡総合病院救命救急センター
(福岡国道事務所撮影)



- 評価対象区間において、特に問題視されている課題は、「渋滞」「事故」「物流」「医療」の4つです。

課題① 渋滞

- 評価対象区間では複数交差点にわたり渋滞が発生し、交差点部では接続道路側においても渋滞が発生しています。
- 通行する交通は、区間の途中で右左折せずに直進し、通過していく交通が多い状況です。



渋滞発生時の交通状況

目標①適切な機能分担※による渋滞の改善

※評価対象区間を直進する交通とそれ以外の交通の分離

課題③ 物流

- 沿線には福岡空港や博多港等の重要拠点が立地し、物流関連企業も多く集積しています。
- 評価対象区間は、沿線の物流を担う重要な道路として使われていますが、慢性的な渋滞が円滑な物流活動を阻害している状況です。

目標③速達性・定時性の向上による 物流活動の支援

課題② 事故

- 区間内の主要交差点の死傷事故率は、福岡県内の平均の約2倍と高く、事故が発生しやすい区間であり、交通混雑時等による発進・停止の多さが主な要因となる「追突事故」が多発しています。

◆対象区間の死傷事故率



目標②走行性の向上による交通安全の確保

課題④ 医療

- 評価対象区間は、沿線地域から第三次救急医療施設（九大病院や済生会）への救急搬送ルートとして使われています。
- しかし、渋滞に巻き込まれることにより、円滑な搬送活動が阻害され、救急医療への支障が発生しています。

目標④速達性向上による救急医療活動の支援



地域の交通課題を解決するための対策案について

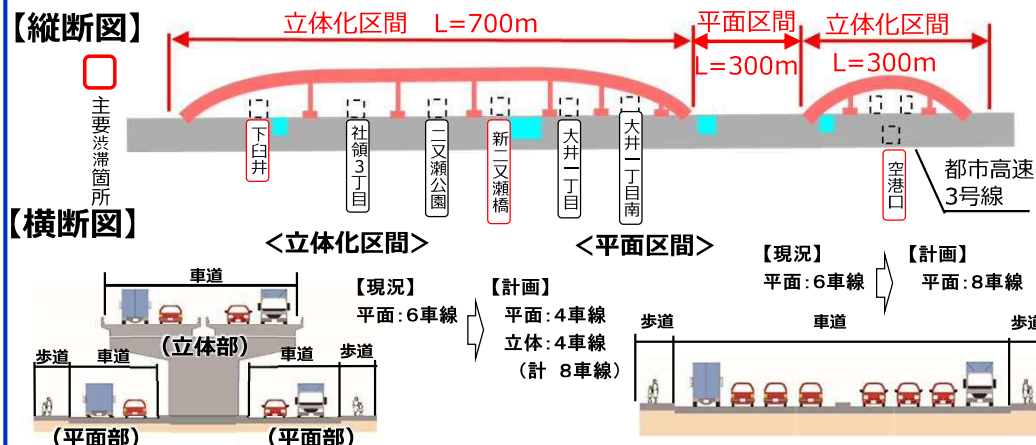
P.3

・課題解決を目標に、沿道の土地利用や都市高速の延伸を考慮し、立体交差を基本とする対策として2案を考えました。



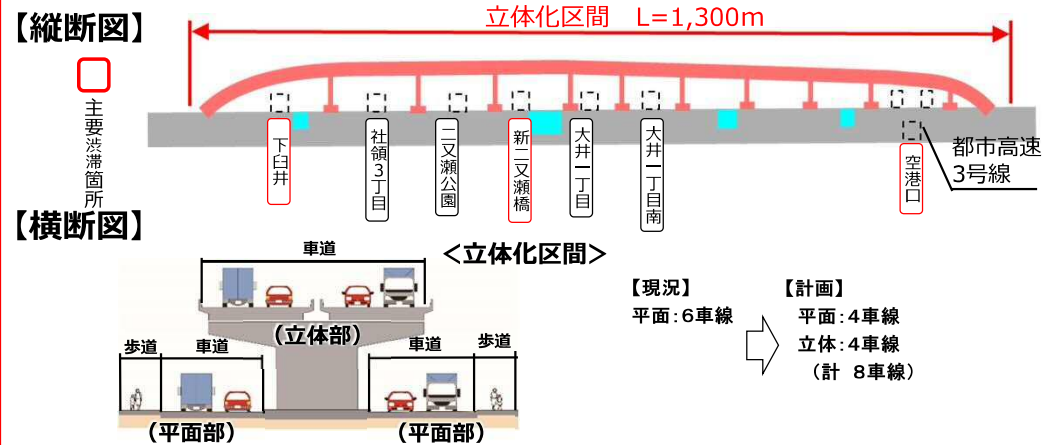
【案①】部分立体化案

平面部との接続区間を設けて、博多駅・福岡空港等各方面への利用を重視した案



【案②】全線立体化案

全線立体構造で整備し、通過交通の走行性を重視した案

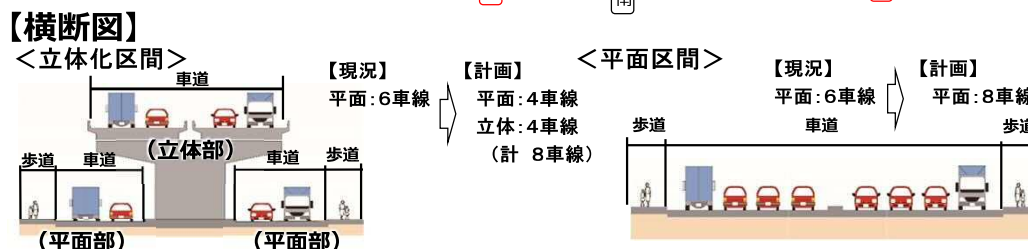
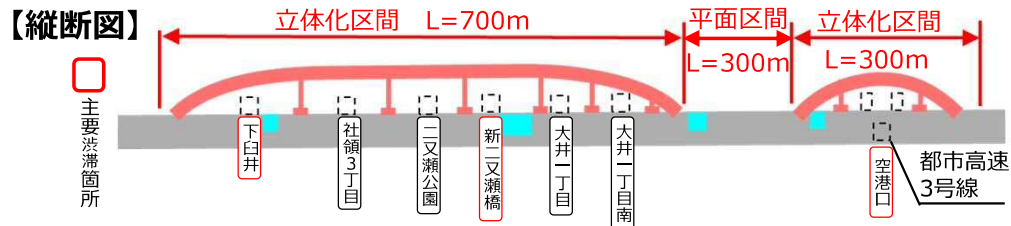


地域の交通課題を解決するための対策案の比較

P.4

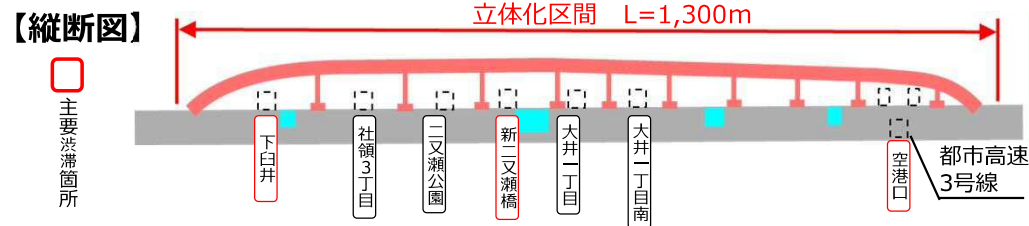
【案①】部分立体化案

平面部との接続区間を設けて、博多駅・福岡空港等各方面への利用を重視した案



【案②】全線立体化案

全線立体構造で整備し、通過交通の走行性を重視した案



評価項目		評価ポイント	【案①】部分立体化案	【案②】全線立体化案
政策目標	【渋滞】適切な機能分担による交通環境の改善	対象区間の旅行速度	・連続した交差点の立体化により、通過交通が立体部に転換するため 交通混雑が緩和する	・連続した交差点の立体化により、通過交通が立体部に転換するため 交通混雑が緩和する
		主要渋滞箇所の渋滞緩和	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が立体部に転換されるため 渋滞が緩和する	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が立体部に転換されるため 渋滞が緩和する
	【事故】走行性の向上による交通安全の確保	主要渋滞箇所の交通事故減少	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が立体部に転換されるため 交通事故は減少する	・主要渋滞箇所(交差点部)の立体化により、通過交通が橋梁部に転換されるため 交通事故は減少する
	【物流】速達性・定時性の向上による物流活動の支援	輸送時間の定時性の向上	・立体化により、信号交差点を通過しなくなるため、 時間信頼性が向上する 【信号交差点を通過する数 現況 7箇所 → 整備後 0箇所】	・立体化により、信号交差点を通過しなくなるため、 時間信頼性が向上する 【信号交差点を通過する数 現況 7箇所 → 整備後 0箇所】
		主要拠点（福岡空港、博多駅方面）への速達性向上	・交通混雑が緩和され走行速度が向上し、 主要拠点(福岡空港、博多方面)へ向かう場合には立体部を活用することで速達性が向上する	・交通混雑が緩和され走行速度が向上するが、 主要拠点(福岡空港、博多方面)へ向かう場合の経路は現状と同じく、平面部の信号交差点を通過する必要がある
配慮すべき事項	【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	緊急搬送の速達性の向上	・交通混雑が緩和されるため救急搬送時の速達性が向上し、第三次医療施設への搬送時間の 10分圏域範囲が拡大する	・交通混雑が緩和されるため救急搬送時の速達性が向上し、第三次医療施設への搬送時間の 10分圏域範囲が拡大する
	沿道や家屋等への影響	沿道施設や家屋等の移転などが少ない	・大井一丁目南交差点と空港口交差点の間に平面部を設けるため沿道施設への 影響範囲は案②よりも大きい	・沿道施設への 影響範囲は小さい
	生活環境への配慮	沿道環境（騒音）が悪化しない	・道路整備により騒音は 現況より一部悪化する	・道路整備により騒音は 現況より一部悪化する
	景観への配慮	眺望の阻害範囲が小さい	・部分立体化構造となるため、 現況と比べて悪化する	・全線立体化構造となるため、 現況と比べて最も悪化する
	工事中的影響・事業期間	工事期間と規制範囲、開通までの期間	・ 部分的に空港口立体化区間の開通が可能であり、工事期間も案②より短い	・全線で立体化構造とする整備のため、 全線開通までの工事期間が長い
	経済性	事業費	300～360億円	370～450億円

アンケートの回答はこちらから (7月5日よりご回答いただけます)

- ・ QRコードは下記をご参照ください



- ・ webアンケートは下記のURLをクリックしてください

URL : <https://r10.to/hyxFwA>